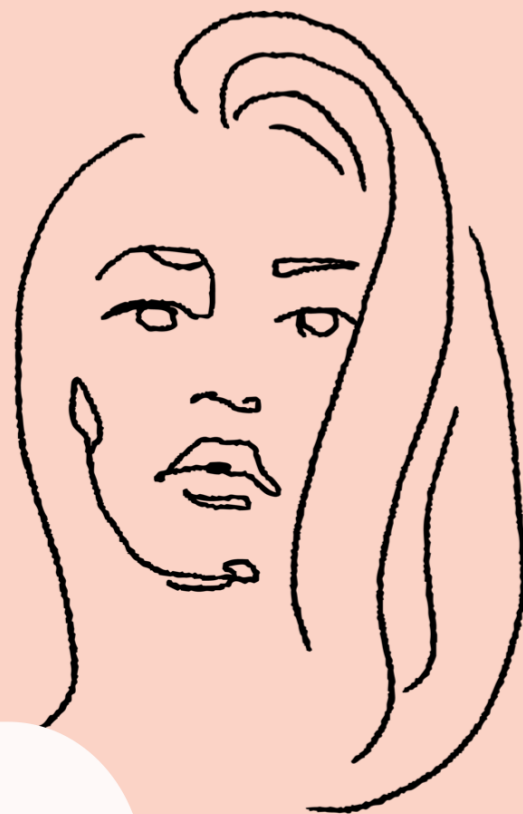


2022年4月から

レディース 健診

始めます！



健診内容

子宮がん検診

内診・経膈エコー・子宮頸部細胞診・
HPVハイリスク検査

乳がん検診

触診・乳部エコー・マンモグラフィー

隠れ貧血検査

血球算定・血清鉄・鉄結合能・
フェリチン

実施曜日 月・火・水・木曜日

健診料金 22,000円（税込）

※次年度には内容が変更となる可能性があります。

名鉄病院 健診センター

052-551-2800

受付時間: 月～金 10:00～16:00

“たられば”にならないために、受けるなら今でしょ！

乳がんは約10人に1人が診断されており、日本人女性がかかるがんの第1位です。

30代で増え始め、40代半ばから50代が最も多いとされています。子宮がんは20代からリスクがあるとされていて、最近ではこれら女性特有のがんの若年化が進んでいます。また「だるい」、「疲れやすい」などの症状を引き起こす「隠れ貧血」とよばれる、からだの中に蓄えられている鉄分の不足による貧血は一般的な健診の血液検査では発見されにくいとされています。

こうした女性特有な疾患は早期発見、予防することで未来を守ることができます。「検診を受けていたら・・・」「受けていれば・・・」にならないためにも、20代からの早期の受診を是非お勧めします。

3つ「検」で女性疾患の早期発見を！

1. 乳がん検診

- マンモグラフィ検査とエコー（超音波）検査の併用

マンモグラフィ検査とエコー検査は検査画像や病変検出方法は異なり、それぞれ得意な面と、不得意な面があります。しかし2つの検査を併用することでがんの発見率が高くなります。

また乳がん検診はセルフチェックも重要なことから自身で気になっている症状を医師に確認できること、その際にセルフチェックの方法も伝授できればと「触診」もメニューに含めています。

2. 子宮がん検診

- 子宮頸がんの原因、ヒトパピローマウイルス（HPV）の検査を同時に行います。

ヒトパピローマウイルス（HPV）に感染すると、多くの場合は自然に消えてしましますが、無くならず、ずっと感染した状態になると一部に前がん病変（がんになる前の状態）を経て子宮頸がんを発症します。

子宮頸部の細胞を採って顕微鏡でみる細胞診と子宮頸がんに進みやすい型のHPV（ハイリスクHPV）の検査を同時に行うことで予防や早期発見が期待できます。

3. 隠れ貧血検査

- 血液中のフェリチン（貯蔵鉄）を測定することで「潜在性鉄欠乏症（隠れ貧血）」をチェックします。

潜在性鉄欠乏症（隠れ貧血）とは、貧血の指標であるヘモグロビンの値が正常であるものの、ヘモグロビンの材料となる体内の蓄えられた鉄（フェリチン）が減少している、貧血の前段階の状態です。しかし、定期健診などの一般的な血液検査では含まれていない血液中のフェリチン（貯蔵鉄）を測ることでチェックできます。